



新しい四半世紀の始まり

明けましておめでとうございます。今年がよい一年となりますよう、年始にあたりお祈り申し上げます。

今年は2026年。21世紀に入り四半世紀が過ぎました。2025年は医療・介護の領域においては、団塊の世代が後期高齢者になる年で、地域包括ケアシステムや、地域医療構想のゴールの年でした。2026年は新時代に突入します。高齢化率が40%を越えている

五島市においては、60歳代、70歳代人口が多く、その世代の一員である私も、五島の社会を支えるひとりとしての使命を感じています。人口減少、少子高齢化が各所で取り上げられていますが、この現状の中どのように住みやすい社会を築いていくのか、挑戦すべき課題です。

聖マリア病院は「隣人を自分のように愛しなさい」というキリストの言葉を理念に掲げています。時代の変化は目まぐるしく、何が

正しいのかわからない時もありますが、どんな時代になっても当院の基本はこのことば、この心です。キリストが人々を愛し、特に病気の人をとても大事にして、いやしの活動を行ったことを模範に、こんな時代だからこそ、この言葉の意味合いの深さを今一度心に刻みたいと思います。

かたや、これから時代は ICT や AI を如何に活用するかが鍵になると感じますが、アナログ人間の私には高いハードルです。

ですが時代においていかれないように、少しでも食いついていこうと思います。2000 年前のキリストの精神で、これからデジタル社会を生きていく、愛の道具として取り入れていく、このようなことも新年の私の、そして聖マリア病院の挑戦だと考えています。

どうぞ今年もよろしくお願ひ致します。

(院長 山中淳子)

次回発行日は令和 8 年 3 月 1 日です。

マリアフェスタ

マリアフェスタは、医療に興味を持つ子どもたちが、医療現場で実際に働いているスタッフから説明を聞きながら、検査や仕事を体験するもので、将来の進路決定に役立てもらうことを目的としています。当院では昨年から小学生を対象とした取り組みを始めており、各部署で約半年をかけて企画を練り準備を整えました。11月2日、各ブースの体験を終えた子どもたちは充実した表情で帰っていきました。





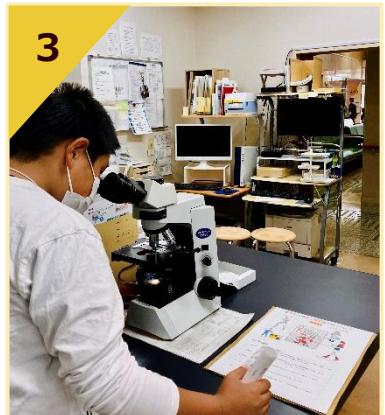
受付業務

マイナ保険証で外来受付を行っています。間違いがないかチェックします。



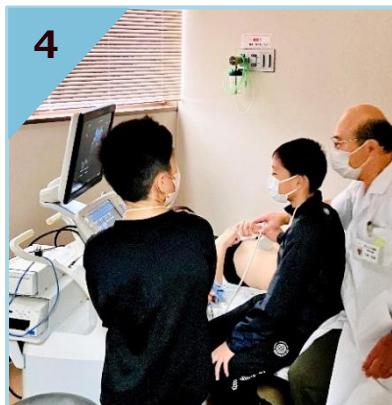
薬局

患者さんごとに指示された薬を分包していきます。用心深く取り組みます。



検査室

血液を顕微鏡で見ています。赤血球や白血球、血小板などが見えます。



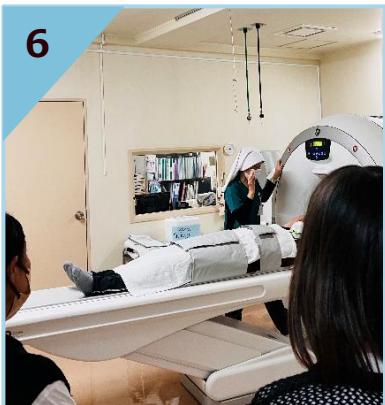
検査

エコー検査では、心臓や肺の動きを見、胃や肝臓の動きを教えてもらいました。



診療科

タブレットを使用して、出題された体の仕組みに関するクイズに答えました。



放射線科

CT撮影の実際を見学し、撮影された画像の見方などを学びました。



介護職

ベッドメーキングや患者さんのベッドへの移乗介助を体験しコツを学びました。



看護部

血圧や脈拍測定、AEDを使用した心肺蘇生の実技を体験しました。



リハビリテーション

メジャーと角度計の使い方を学びながら上下肢長や関節可動域を測定しました。

追悼のつどい

11月5日 過ぎた1年間に帰天された患者さんや職員の御家族を追悼しミサの祈りをささげました。福江教会の中田神父様は、闘病中のご家族の体験談を交え、聖マリア病院の職員一人ひとりの毎日の働きが、患者さんの身体の健康だけでなく、心の癒しにもつながっていると思うと語られました。



防火訓練



11月21日 五島市消防本部の消防士が立会う中で、火災避難訓練と防火訓練が行われました。消火栓の使用方法や避難誘導の方法等は、普段からスタッフ間で話し合い、情報を共有しておく必要があることを教えていただきました。消火器を使用する際の注意点など説明を受け、実技を行って訓練を終えました。



2025年クリスマス

待降節の間に各フロアはクリスマスの装飾で彩られ、職員向けにはクリスマスを準備するメッセージが届きました。12月24日にはプレゼントが配布され、25日には病院内でクリスマスミサが行われました。入院中の患者さんに加え、ご家族や修道院のシスター、職員がつどい、主の降誕の喜びを分かち合いました。入院患者さんは1週間前には赦しの秘跡にも預かり今日の日を心待ちにしていました。思いもよらない懐かしい再会もあったようで、ミサの後もしばらく談笑が続いていました。



穏やかな日々を ありがとうございました

■11月末で出向の期間を終えた理学療法士平川雄大さんに、五島での生活について語っていただきました。

久留米から五島聖マリア病院に来て5ヶ月間働かせていただきありがとうございました。

最初は5ヶ月あるので、ゆっくりと日々を過ごすことができるなと思っていたのですが、あっという間に期間が終了しました。妻の出身地ということで、これまで何度もかは訪れたことがありましたが、今回こうして五島で暮らしながら働くというのは初めての経験で、緊張とワクワクが入り混じる日々でした。

業務外でも、五島ならではの景色や自然、地元のおいしい食事を楽しむことができ、久留米では味わえない充実した時間を過ごすことができました。

今回の出向で得た経験や学びは、今後の臨床にも必ず活かしていきたいと思います。

最後になりますが、また五島に来る機会があれば、どこかで皆さんにお会いできたらうれしいです。5ヶ月間、本当にお世話になりました。



研修医紹介～はじめまして～



Dr.Tanaka Masamitu

- ◇出身地…福岡県
- ◇趣味…舞台、ミュージカル鑑賞
- ◇志望科…循環器内科
- ◇研修期間…令和7年11月2日～12月27日

初期研修医の田中政充と申します。11月から12月末までお世話になります。先生方や医療スタッフの皆様の支えがあり、非常に充実した研修生活を過ごすことができています。五島の人々の温かさ、豊かな自然、美味しい食事、日々の生活がすべて新鮮です。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

今月の写真



編集者より



11月21日 聖マリア保育園の子どもたちがやってきました。勤労感謝の日にあたり、日頃の感謝を伝えるために似顔絵と歌のプレゼントをしてくられました。

新しい一年が始まりました。カトリック教会では一月一日を「世界平和の日」と定めています。教皇レオ14世は、為政者が解決すべき各国間における平和だけでなく、一人ひとりから始まる平和について語っています。「平和は、わたしたちが何を言い何を行うか、そしてどのようにそれを言い行うかによって始まる」のです。心の内にある平和は言葉遣いを慎み深いものにしていくそうです。武器としてのことばではなく平和のためのことばを発することができればと願い、祈ります。地上に来られた救い主は、平和を生む神のことばそのものですから。

(編集者)